



蓮池の夢通信

第3号

平成21年6月15日

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会

<http://park.geocities.jp/hasuikesaisei>

**** この4年のあゆみ ****

会長 石川 速 夫

当会の活動も4年目に入り、この間の主な動きを纏めてみますと以下のとおりです。

平成18年：古図にある蓮池が現状の市街地のどこに位置するか比定し発掘による実態解明の可能性を探る基礎的調査をしました。その結果が「宇都宮城想定図」となりました。

平成19年：地権者のご理解により、上蓮池南端に相当する地点のボーリング調査をし、そのコアの分析により堀の植生が推定され、蓮の花粉の顕微鏡分析に成功しました。

平成20年：試験調査の結果15個の蓮の種子を発見し年代測定の結果250年～400年前に遡る結果を得ました。中2個の種子が発芽生育中で、堀の深さも大略見当がつかしました。

平成21年：本格的な発掘調査の結果、蓮の種子64個のほか、灯明皿など数点の生活雑器残欠を得て目下分析中です。

これらの事業には、物心両面にわたり多くの方々のご理解・ご協力をいただいております、心から厚く御礼を申し上げます。



写真－1 コメリ緑資金の会から助成金を受ける石川会長



写真－2 蓮根を形成した 10・12



写真－3 発掘作業に係ったスタッフ



写真－4 (株)コメリ本社からのボランティア

ご支援いただいた方々からのメッセージ

・太田 周（作新学院大学学長）さん

250年前の蓮の実が芽を出し花を咲かせると聞いただけで夢とロマンを感じる。宇都宮城蓮池跡地の発掘調査から1年、昨年春には発掘された蓮の実が永い睡りから覚め、今年はどのような花を見せてくれるのか、心待ちにしている。永い睡りのあいだには、街の人々の楽しみや喜びの響き、戦いの爆音と苦難の嘆息を地中で聞いていたことだろう。この春も発掘調査が行われ、新たな実が見つかった。蓮池の調査は、古きをたずね宇都宮の歴史・文化を市民の目線で築こうとする活動によるものだ。ここまで漕ぎつけた会員や地域の皆様のご努力に敬意を抱き、大学教育の中で「地域学」の必要性を感じている。ともあれ、お釈迦さまとともにある蓮の花の気高い開花と芳香を楽しみにしている。

・瀧内 康晴（㈱コメリ本社 社会貢献活動として参加）さん

5月9日、新潟より宇都宮の印南さん宅へ向かうと、まず目に飛び込んできたのは、沢山の蓮の瓶、その数の多さに驚きました。蓮池再生の石川会長さんから歓迎の言葉を餃子会の伊藤さんからは同郷人の励ましをいただき、皆様の蓮に対する愛情に感動しました。また、各蓮寺に配置された瓶が景観によく合っているのを眺めながら、お手伝いをして良かったなと思いました。ボランティア作業の後には宇都宮が駅弁発祥の地とする各種の弁当、印南さんの奥様の家庭料理、帰路を前に伊藤会長の店での宇都宮餃子、ごちそうさまでした。今後ともこのような素晴らしい活動を続けていただきたいと思います。

発掘に係った方々からのメッセージ

・高橋 史朗（作新学院職員 日本考古学協会員）さん

事務局長の印南さん、作新学院大学太田学長から、蓮池跡の発掘調査に協力して欲しいとの依頼を受け、微力ながらお手伝いさせていただきました。表土下 1.7mより何層にも渡って蓮の植生を裏付ける実や葉柄、花托などを確認することができました。他に和釘、灯明皿などの遺物も出土しました。絵図・古文書に出てくる「宇都宮城の上蓮池」を考古学的調査によって実証することができ、大変うれしく思います。この調査によって見つかった実から多くの蓮の花が現代に甦ることを心待ちにしております。

・中村 照雄（中村建設社長）さん

平成19年3月に宇都宮城の一部復元工事が完成し、本丸の堀と清明台という櫓は弊社から眼前に望める位置にあります。先頃作成した「宇都宮城想定図」によれば弊社は二の丸御殿の跡であることが判りました。弊社も何らかのお手伝いが出来ないかと考えていたところ、3度目の調査を行う事を聞きましたので、早速社内でも検討したところ施工可能と判断しましたので、協力させていただきました。工期は6日間でしたが予想以上の成果を得ることができたとのことで社員一同安堵しました。これまで、誰もが夢物語と思っていたことが、この夏には江戸期の花が見られるとのことです。この地道な活動を通して何が大切かを多くの市民が学んだことと思います。次なる夢は一日も早く蓮池が再生される事です。

・渡邊 豊（中央小5年）君

僕は、発掘調査をした所の反対側の家に住んでいます。去年の調査では、自分で蓮の実を見つけることが出来ました。見つけたときの驚きは今も忘れることが出来ません。今年の3月には詳しく調査するので、また参加してみました。前回と違って少しずつ掘っていったので、土の色の変化や、地下にどのように蓮の実が埋まっていたかが、とてもよくわかりました。そのことを友達にも教えてあげました。去年見つけた蓮の実も芽が出て、今年は花が咲くそうなので、どんな花が咲くのかとても楽しみです。

応援メッセージ

・斎藤 学（元秋田県庁職員）さん

今般、戊辰戦争で焼失した宇都宮城の江戸期の蓮が咲くという。さぞ宇都宮市民の皆さんは蓮の生命力に感動することでしょう。当秋田市の久保田城も宇都宮城と同じ運命をたどり、今日、城跡は千秋公

園として市民に親しまれています。平成14年4月宇都宮市の蓮愛好家である印南氏は既存の蓮は表示と異なるとのことで純系の大賀蓮を持参し植えてくださいました。近年、公園のお堀にも移植され見事な花を咲かせております。蓮の生命力等から、花を愛しみ、命を大切に思う市民でありたいと思います。

・大竹 清作（前宇都宮市議会議員）さん

平成16年9月の議会において、宇都宮城の復元事業に合せ、蓮池があったであろう地点で蓮の実を探索し、現世に甦らせてはという主旨の一般質問をしたところ、執行部は調査が困難であるとの答弁でした。しかし、平成18年には再生に向けた夢を持つ市民により会が組織され、蓮の実発見に多くの熱意ある市民を巻き込んだ結果、今般見事に花が咲くとのことです。蓮池が再生されることを夢みて力を合わされた多くの皆様方に心から感謝し、その努力がやっと花開き報われることをお喜び申し上げます。

・清水 昭（宇都宮市文化財ボランティア協議会顧問）さん

宇都宮城二の堀に当たる上蓮池・下蓮池に咲き誇っていた蓮の実を発掘し、宇都宮の花の文化を再生しようとする貴会のご努力が実り、本年は開花に漕ぎ着けられたとのこと誠におめでとうございます。

感謝感激しております。宇都宮城址公園も国土交通省の「日本の歴史公園100選」に選ばれ、御城の所在地として全国から来場者が多くなりました。更に今後は、小倉百人一首を始め文武両道に優れた宇都宮としては、餃子の街等だけでなく、市民の理解協力の下「歴史ロマンの漂う蓮の花が咲き誇る街宇都宮」としても、全国にその名が知れわたり多くの観光客が蓮の花に酔痴れるような街の実現が出来ればと、私も夢見る者の一人となっております。

2号以後の経過と今後の予定 平成21年

- ・12月25日：コメリ緑資金の会から助成金決定の通知があった。
- ・2月4日：「第19回コメリ緑資金」の平成21年度助成金贈呈式が新潟市で開催された。〔写真-1〕
- ・2月14日：同上が下野新聞に掲載される。
- ・3月19日：宇都宮城の蓮が蓮根を形成（No.10、No.12）しているのを確認 〔写真-2〕
- ・3月21日：同上について産経新聞栃木版に下野新聞は23日に掲載される。
- ・3月23日：23日～28日まで上蓮池跡において3度目の発掘調査を実施した。 〔写真-3〕
- ・3月28日：灯明皿と和釘さらに64個の蓮の実が発掘された。 〔写真-5〕
- ・4月10日：平成21年度宇都宮大学公開講座で「宇都宮城と蓮池」を7月から10月に開講決定
- ・5月9日：（株）コメリのボランティアが新潟から蓮寺と文化財めぐりの準備に来宇 〔写真-4〕
- ・5月24日：同上について産経新聞栃木版に掲載される。
- ・5月24日：宇都宮城の蓮No.10とNo.12の浮き葉裏に赤色と緑色の固体差を確認 〔写真-6～7〕
- ・6月15日：「蓮池の夢通信第3号」の発刊送付
- ・6月15日：第7回栃木花蓮写真展開催の募集要項配布案内
- ・7月12日：宇都宮大学公開講座 第1回「宇都宮城下絵図の変遷について」 講師：船木 明夫
- ・7月18日：「第5回蓮寺と文化財めぐり」の開催
- ・7月19日：宇都宮城上蓮池跡から昨年発掘した蓮の開花に伴う観蓮会の開催。雨天の場合は20日
- ・7月26日：宇都宮大学公開講座 第2回「蓮の実発掘と蓮からわかるもの」 講師：印南 洋造
- ・10月4日：宇都宮大学公開講座 第3回「蓮池からみた江戸時代の自然環境1」 講師：小笠原 勝
- ・10月10日：10日～14日まで第7回栃木花蓮写真展の開催 於：NHK 宇都宮放送局 1F
- ・10月10日：写真展の開催に併せ蓮池講演会を予定
- ・10月18日：宇都宮大学公開講座 第4回「宇都宮歌壇と宇都宮城主の足跡」 講師：石川 速夫
- ・10月25日：宇都宮大学公開講座 第5回「蓮池からみた江戸時代の自然環境2」 講師：松居誠一郎
- ・11月3日：平成22年度版「蓮ごよみ」の作成及び頒布



写真－5 3月に確認された64個の蓮の実



写真－6 10 赤い浮き葉の葉裏



写真－7 12 緑の浮き葉の葉裏

入会のご案内

宇都宮市では平成19年3月、宇都宮城の一部復元工事が完成しました。

江戸期の宇都宮城下絵図には蓮池門、上蓮池、下蓮池などの記載があり、往時の人々が愛でた蓮の花を、平成の今日、宇都宮の花の文化として蓮池を再生しようと平成18年2月から市民運動を展開しております。つきましては、この趣旨に賛同される会員を募っています。

会費：個人会員は年会費1口：1千円から、賛助会員は年会費1口：1万円から。

振替口座番号：00160-2-742086 宇都宮城跡蓮池再生検討委員会 お問い合わせは下記本部・事務局へ

本 部 〒320-0023 宇都宮市仲町2-17（塚田方）電話：028-622-5879 FAX：028-627-0269

事務局 〒321-0901 宇都宮市平出町3630-3（印南方）電話：028-663-1313 FAX： 同左

事務局からのご案内

- ・**公開講座**：平成21年度宇都宮大学の公開講座として「宇都宮城と蓮池」と題して5回シリーズ（7月から10月）で開講（前ページ参照）する事になりました。
- ・**第5回「蓮寺と文化財めぐり」**：7月18日（土）4ヶ寺を予定。
- ・**観蓮会**：7月19日（日）雨天は20日。昨年4月に発見した蓮の実の中2個の実が順調に成長し7月には開花するものと思われますので、これまでご協力いただきました方々や一般者をお招きし、有料（記念品等を用意）で観蓮会を開催します。詳細は上記、本部・事務局へお問い合わせください。
- ・**第7回栃木花蓮写真展**：6月下旬応募要項を配布 10月10日～14日 於：NHK 宇都宮放送局で開催。なお、詳細は会のHP「宇都宮城跡蓮池再生検討委員会」を検索または、事務局までお問い合わせ下さい。
- ・**蓮ごよみ**：今年も「第7回栃木花蓮写真展」の入賞作品から、平成22年のカレンダーを作成し頒布します。ご希望の方は送料共1部千円で予約を受けますので上記本部へ住所・氏名・Tel・部数を記載しFAX 願います。